

令和5年12月14日 00669号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

## ニュースレター

【事務局情報】

### 北見光西中柔道部にも二刀流の全道準優勝!

令和5年12月3日(日)札幌市中央体育館(北ガスアリーナ46)で開催さ



れた“第30回横井七之助旗争奪北海道中学校柔道新人団体優勝大会”で北見市立光西中学校の新人3人が大活躍し「準優勝」を成しとげました。本大会の参加資格を見ると「北海道内中学校に在籍する、1・2年生」とあり、光西中団体は、男子2部(3人制)に出場しています。先鋒 <sup>やまぐちそうすけ</sup>山口颯介(1年) 中堅 <sup>きさきりと</sup>佐々木李斗(2年) 大将 <sup>しもむらやまと</sup>下村大和(2年)が団体予選リーグを圧倒的強さで1位通過し、決勝トーナメント戦に勝ち進んでいます。決勝トーナメント1回戦には3-0で勝利、2回戦は1-1の内容勝ち、決勝戦の士別(上川)では1対2で敗れるも、見事な準優勝を獲得しました。引率した山口賢吾監督は、「全選手よく頑張った!特に大将の下村くんは全試合1本勝ちで勝利に貢献した」と、選手たちの

健闘ぶりを称えました。先鋒山口颯介くん、中堅佐々木李斗くんは、柔道競技大会のみならず、「形」競技大会においても活躍しています。また、大将下村大和くん(写真中央)は、北見市立光西中学校の野球部にも所属していて、9月16日~18日に旭川市で行われた「第15回全日本少年春季軟式野球大会 北・北海道大会」において優勝を果たし、令和6年3月に静岡県で開かれる「文部科学大臣杯第15回全日本少年春季軟式野球大会」への出場権も獲得しており、格技と球技における活躍ぶりです。「柔道」「野球」を両立させている下村大和くんには、「まさに二刀流の活躍」と称赞の声が聞こえてきそうです。今後も新人柔道選手の活躍が期待されています。(佐藤)

**事務所の花シリーズ「源平木」** 源平木の由来は平氏の赤旗、源氏の白旗から名付けられたといわれているようです。日光の当たるところを好みます。(渋谷)

**連載 中国「老子」の思想 十一章 無用の用** たくさんの輻(や)をひとつの轂(こしき)にはめこんで、車輪をつくる。轂のなかがうつろだから、そこに心棒を通して、車輪が廻せるのだ。粘土をこねて、瓶(かめ)をつくる。なかがうつろだから、物が入れるのだ。出口をうがって、部屋をつくる。出入り口がうつろだから、部屋が使えるのだ。このように、「無」のはたらきがあるからこそ、「有」が役に立つのである。

原文:三十輻共一轂。當其無、有車之用。埴埴以爲器。當其無、有器之用。鑿戶牖以爲室。當其無、有室之用。故有之以爲利、無之以爲用。十二章に続く

